

Title	南洋叢書(東亞經濟調査局刊)
Sub Title	
Author	有賀, 春雄(Ariga, Haruo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1938
Jtitle	史学 Vol.17, No.1 (1938. 8) ,p.144- 144
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19380800-0144

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

の綜合、比較、分類、ノートの整理、年代的排列の方法などを説明する。

要するにこの一書は斯學の入門として有益なるのみならず、單なる讀物としても平易にして興趣に富んでゐる。豊富なる舉例は、著者の實際に従事した近東、エジプト、イギリスにわたつて述べられ、すべて古代史の領域に關聯する。本書に於ける如き實績は我が國の發掘作業とはおのづから方法も異なるべく、かくの如き大發掘に關して我々はたゞ現地操作の報告に接するのみであるが、ともかく學問的方法について非常な興味を覺えしめる點から一讀を推賞したい。(平山榮一)

南洋叢書 (東亞經濟調查局刊)

財團法人東亞經濟調查局の手に依つて南洋叢書の刊行が計畫され、既に昭和十二年三月にその第一卷蘭領東印度篇が上梓され、同年十二月には第二卷佛領印度支那篇、續いて十三年三月には第三卷英領マレー篇が刊行され、残るはシヤム篇とフィリッピン篇のみとなり、全五卷の完成も近づいて來た。本叢書刊行の目的は南洋全般の經濟事情を詳細に知らしめんとするにある。各篇に就て其の敘述の形式をみるに、先づ各地方の地理に筆を起し、その歴史と政治を説き、然るのち財政、産業、交通・通信、外國貿易、貨幣・金融などに就て詳細に記述してゐる。この點は各篇とも一致してゐるが、蘭領東印度篇と佛領印度支那篇に於ては、以上の外に「社會」の一章を設けて言語、教育、宗教、衛生、風習、藝

術、娛樂などに就て述べて居り、また特に前者に於てはその附録に「蘭領東印度の特殊法規」として、土地、航海、鑛業、輸出入、事業、外國人勤勞、漁業などに關する法規を載録してゐる。三篇を通じての總頁數は實に一千二百を超へ、従つて内容は各項とも極めて詳細であり、殊に各篇とも卷末に事項索引と統計索引を附し、別に各地方の彩色地圖を添附して讀者の便を計り、最も完備せる編纂物となつてゐる。只だ本叢書編纂に使用せる文獻に就ては、統計書を明記せるのみで、その他一般の文獻を掲載しないのは(部分的にはこれを示した個所もあるが)、斯の如き學問の良心を以て爲された編纂物としては如何にも惜しい感がある。殊に最も問題の多い歴史の部分に於て、それがたとひ本叢書の主要部ではないにしても、參考文獻は一應明記して欲しかつた。が、かくの如き注文はなされ得るとしても、數多い南洋關係の編著作物の中で、本叢書の如く整備せるものは極めて稀であり、特に我が國が一大飛躍の途上にある現下の時局からみて最も時宜を得た編纂物として推獎することが出来る。(蘭領東印度篇定價二圓八十錢、佛領印度支那篇英領マレー篇定價各二圓三十錢)(有賀春雄)

寄贈交換圖書雜誌目錄

支那と佛蘭西美術工藝 小林太市郎著 東方文化學院京都研究所
 宋本禮記疏校記 常盤井堅十著 東方文化學院京都研究所
 繪具染料商工史 大阪繪具染料同業組合
 祭政一致と臣民道 大倉精神文化研究所
 熾仁親王行實 高松宮家